



いのちのたび



〒805-0071 北九州市八幡東区東田二丁目4番1号
Tel 681-1011 Fax 661-7503
HP <https://www.kmnh.jp/>
発行：いのちのたび博物館 ミュージアムティーチャー

今年も残すところあと1か月となりました。冬休みやクリスマス、お正月などイベントも多い季節ですが、皆さんはいかがお過ごしですか。さて、博物館では現在、常設展示の中で企画展「調べる・くらべる くらしと道具のうつりかわり」を開催しています。懐かしい給食のサンプルもありますので、ぜひ見に来てくださいね。

企画展「調べる・くらべる くらしと道具のうつりかわり」

令和7年11月15日(土)～令和8年4月19日(日)



(企画展ポスター)

小学校3年生の単元「かわる道具とくらし」に基づき、衣食住に関する身近な道具の変化や人々のくらしのうつりかわりについて紹介します。校外学習で来館する子どもたちが、実際に地域と道具とくらしのうつりかわりを観察して、比べて、考える機会を提供します。また「ちょこっと博物館」(オンライン授業)でも道具の紹介等ができますのでお問い合わせください。



常設展入場券のみ
で観覧できますよ。

先生、ちょっと聞いて!

ハンズオンコーナーを知っていますか!

博物館では、下記のような化石・土器片などを実際に手にふれる体験ができるコーナーを設けています。来館の際には触ってみましょう!!

見たり触れたりして、感じたことや気付いたことを子どもたちと一緒に話しながら館内を楽しんでください。

自然史系



アンモナイト化石



アパトサウルスの大腿骨



珪化木

歴史系



土器パズル



文化学習園(室内・体験コーナー)



においをかごう!
(約3700年前のクスノキ)

ミュージアムのタネ



研究の現場「いのちのたび博物館」にようこそ

博物館には標本や資料をたくさん展示しています。いのちのたび博物館でも「自然史ゾーン」と「歴史ゾーン」に分かれた広い展示室があります。実は、この展示室の裏側にはとても大切な場所が2つあります。1つ目はたくさんの標本や資料を大切に保管している収蔵庫です。2つ目は研究室や実験室です。いのちのたび博物館は研究の現場でもあるのです。

博物館には、学芸員という資料を集めたり、管理したり、展示をつくったりする仕事をする人がいますが、さらに、それぞれの専門分野(又はテーマ)について研究も行います。自然史の学芸員は、博物館の中での標本の観察やDNAの分析、野外での植物や動物の調査などをおして、様々な研究をしています。

私は哺乳類の担当で、イリオモテヤマネコやツシマヤマネコの生態を研究しています。野外では、ヤマネコを捕まえて首輪型のGPSをつけます。これでヤマネコがどのような環境を利用して、どのくらいの範囲を動いているのかを調べます。また、自動撮影カメラを森に置いて、ヤマネコがいる場所を調べます。博物館では交通事故などで死んでしまったヤマネコの骨格標本を作って、歯の年輪から何歳だったのかを調べたり、頭骨の形と食べ物との関係性を研究したりしています。

学芸員が研究した結果は論文として発表されます。これらの研究や、研究しながら得たアイデアが新しい展示につながることもあります。博物館に来た時には、ぜひ研究の成果が展示されている場所を探してみてください。

自然史課 学芸員 中西 希



自動撮影カメラ設置



年齢順に並べたイリオモテヤマネコの頭骨



捕獲したイリオモテヤマネコを計測する